

団体紹介

- ・昭和11年(1936年)に設立された、県内で最も歴史の古い植物調査研究団体。
- ・山形県のフロラ(どんな種類の植物があるのか)解明のため、県内各地で調査を実施。
- ・これまで、山形県の植物誌(1972、1992)や新山形県野生植物目録(2019)等の県内の植物に関する文献を発刊。県レッドデータブック(植物版)発刊へも貢献。
- ・令和2年度から、やまがた緑環境税を活用した下記人材育成イベントを6年計画で実施。

活動内容

山形県の多様な生き物保全プロジェクト!!

～野生植物の調査に興味がある若手人材の発掘と育成～

庄内会場

開催日: 令和5年6月4日(日) 9:30～16:00

場所: 高館山・鶴岡市自然学習館「ほとりあ」(鶴岡市)

参加者: 25名(30代以下が11名、うち大学生2名、高校生4名、中学生1名 ※中高生の参加は4初年目で初)

内容:

- ①現地実習: 約5名の参加者に講師2名(フロラ山形会員)の体制で、施設の西側に隣接する「下池」を1周し(約4.5km)、植物分類のポイントについて研修
- ②室内研修: 植物の採集が禁止されている区域であったことから、主に図鑑により観察した植物の同定ポイント等について復習



下池周辺での分類実習



「ほとりあ」での分類研修



ブナ林内での分類実習



「こもれび館」での分類実習

最上会場

開催日: 令和5年8月19日(土) 9:30～16:00

場所: ふれあいの森・遊学の森「こもれび館」(金山町)

参加者: 20名(30代以下の参加者が10名、うち大学生2名、小学生2名 ※小学生の参加は4年目で初)

内容:

- ①現地実習: 庄内会場と同様の体制で、遊学の森の東側に広がるブナ林に移動し、植物分類のポイントについて研修
- ②室内研修: 現地実習で採集した植物と図鑑により、観察した植物の同定ポイント等について復習

※ 実習では、前山形県レッドリスト等掲載種選定委員会(植物版)委員長の山形大学理学部 横山潤教授にも指導をお願いしています。

活動の成果と今後

- ・アンケート調査では、両会場とも約9割以上が「分類のポイント等について理解できた」、庄内会場では約7割、最上会場では参加者全員が「同様の研修会に今後も参加したい」と回答しており、活動の継続により若手人材の育成が期待できる。
- ・来年も、引き続き後継者の少ない庄内、最上地区での同活動を続けて行きたい。